

## 地方創生加速化交付金事業

## 「食」でもてなす「陸上競技の聖地」実現プロジェクト

## (事業概要)

「陸上競技トレーニング拠点施設（仮称）」の整備により、観光の核となるハード面の整備が図られることから、陸上競技を熟知したスタッフによる練習のサポートや、食品栄養学に基づいた食事の提供といったソフト面の充実を図り、陸上競技者の合宿におけるニーズに対応できる環境を整備することで、陸上競技者にとって、本町が「陸上競技の聖地」として認識されるような地域づくりを進め、交流人口の拡大や地域のスポーツ合宿関連産業の成長を促し、雇用機会の創出や、さらなる新産業を創出するイノベーションを推進する。

## (事業費)

28,029千円（うち国庫負担 27,975千円）

## (事業実績)

## 1. スポーツ合宿誘致に携わる専門人材の確保

**大崎に陸上合宿呼び込んで**

大崎町は1日、鹿児島県 鹿屋市の原口幸一さん（左）が有明高校跡地に整備する「大崎陸上競技トレーニング拠点施設（仮称）」を活用した。合同誘致活動のほか、地元企業と連携して受け入れ態勢づくりに当たる。任期は2017年3月まで、地創生プロジェクトに、最長1年間担任できる。前久留米工業大学女子駅伝 原口さんは大崎町出身

**聖地創造役に原口さん** 地元出身 駅伝指導者

大崎町は1日、鹿児島県 鹿屋市の原口幸一さん（左）が有明高校跡地に整備する「大崎陸上競技トレーニング拠点施設（仮称）」を活用した。合同誘致活動のほか、地元企業と連携して受け入れ態勢づくりに当たる。任期は2017年3月まで、地創生プロジェクトに、最長1年間担任できる。前久留米工業大学女子駅伝 原口さんは大崎町出身

大崎町長（右）から辞令交付を受ける原口幸一さん（左）は、大崎町役場で、志布志実業高（現尚志館高）卒業後、京セラ、神埼などに所属し全日本実業団駅伝や九州一関駅伝で活躍。国内外の複数のマラソン大会で優勝した経験を持つ。冲縄気では選手兼コーチを務めた。

町の公募に応じた原口さんは「これまでの経験や人を育てることに生かして、地元で貢献したい」と意欲を語った。東崎町長は「大崎に来て陸上をやることが、町づくりをしてもらえたら」と期待した。

（原口川勝）

（平成 28 年 9 月 2 日 南日本新聞掲載）

○誘致活動回数 11回（県内1，九州管内5，その他5）

実業団34，大学24，高校13，その他6

対面回数 実業団65，大学44，高校14

対面者数 実業団35，大学28，高校13，その他6

○受入対応（チーム）

1月6日 キャノンアスリートクラブ九州 現地視察

2月21日 台湾ナショナルチーム 現地視察

3月2日 シスメックス 現地視察

○スポーツ関連企業受入対応（企業） 6回

○合宿受入対応 1月7日～1月15日 ナンチク女子陸上部

## 2. 地元気運を高め、広くPRを行うためのイベントの開催

### 陸上合宿 聖地化へ助言

大崎 為末さん、山本さんが教室



陸上合宿を誘致するメダルの山本龍さんを招き、講演会や陸上教室を開いた。

町は、県が有明高校跡地に整備する「大崎陸上競技トレーニングセンター」を借り、合宿誘致や受け入れ態勢を整えている。

大崎 為末さんは「ハード面、どのようにも活用するかが大切」、山本さんは「コミュニケーションをとって、選手側が何を求めているかを聞いて」などと指摘した。

陸上教室には地元の小中学生約100人が参加。正しい姿勢で走るなどの大切さを伝えた。

陸上合宿を誘致するメダルの山本龍さんを招き、講演会や陸上教室を開いた。

町は、県が有明高校跡地に整備する「大崎陸上競技トレーニングセンター」を借り、合宿誘致や受け入れ態勢を整えている。

大崎 為末さんは「ハード面、どのようにも活用するかが大切」、山本さんは「コミュニケーションをとって、選手側が何を求めているかを聞いて」などと指摘した。

陸上教室には地元の小中学生約100人が参加。正しい姿勢で走るなどの大切さを伝えた。

小中学生に走り方を指導する為末さんと山本さん。大崎市の大崎公園陸上競技場。

競う練習をこなした。大崎中学校2年の山本龍さんは「ハードルの跳び方や足の上げ方など学ぶことが多かった。今までにない機会でも、楽しかった」と話した。（見聞川勝）

（平成 28 年 11 月 7 日 南日本新聞掲載）

1 1月6日開催 講師 為末 大, 山本 篤  
午前 関係者向け講演会, トークショー 70名参加  
午後 小・中学生向け陸上教室 112名参加

### 3. 「おおさき」の「食」をPRするための取り組み

#### ○アスリート向け食事メニューの開発

本町特産品7種類×3品目の食事メニューの開発とレシピ集を作成。  
スポーツ栄養学に長けたKAGO食スポーツに委託

#### ○食品加工技術の向上のためのセミナー等の開催

セミナー開催 3回, 相談会開催 4回 (参加者数 延べ56人)

#### ○食品加工のための環境整備

加工用機材購入

町内事業所への意見聴取により, スチームコンベクション、真空包装機を導入。

### 4. 陸上競技者のニーズを捉えるための取り組み

#### ○市場調査の実施

調査対象者数 実業団121, 大学107, 計228

回答者数 実業団33, 大学47, 計80

(別途, 選手個人アンケートを実施。209名から回答。)

主な回答先

実業団

SUBARU, カネボウ, 日清食品, 三井住友海上, パナソニック, デンソー, 天満屋 ほか

大学

東海大学, 松山大学, 城西大学, 東京農業大学 ほか

#### ○実業団が実際に本町で合宿を行うことによるニーズ把握

モニターツアーの委託

ナンチク女子陸上部

1月7日~1月15日 ナンチク (あすぱる宿泊, 監督, コーチ, 選手7名)